

オリーブ通信

2017年
4月号
2017.4.22発行
第186号



<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>

2度も降られた今年のお花見



今年は土曜日の巡り合わせと天候に翻弄されました。去年は4/2(土)で満開だったのです。従って今年4/8(土)ではもう花が散っているかもしれないと心配だったため、急ぎよ前週の4/1もやります、というチラシを作ったのでした。ところが、今年は寒さが居座り4/1の桜はつぼみのまま。天気は良かったのに残念ながら中止となりました。今年は全国的に開花が遅かったようです。しかし翌週の週間



天気予報では4/8は雨。ちょうど見頃になりそうなのについていません。天気予報どおり土曜日は雨でした。それでも午後から雨がやんだこともあり、3時に集合場所のまちセンへ向かいました。来てくれたのは田中さん、中村さん、後藤さんと私を入れ4名のみ。せっかくだからということで4人だけで旧草津川の桜並木を見に行きました。

実は、草津川の跡に造成されていた公園が4/1にオープンしていたのでその見学も兼ねて向かいました。桜は満開になっていて、これで天気がよかったら申し分なかったのにとおりましたが、天候だけはどうしようもありません。

また、新しくできた公園はきれいに整備されベンチやトイレもあり、花見や散歩するには絶好の場所だっただけに残念です。途中からまたパラパラと雨が降ってきたため腰を落ち着ける暇もなく短時間で退散することになりました。

来年こそは生徒さんも交え大勢で花見がやりたいです。やはり青空をバックにした満開の桜が見たいものです。(レポート 豊村 信良)

中川先生のへんてこ日本語

81

どれくらい距離で話せばいいの？

先日電車の車掌さんが、「車内で大声で話すことやヘッドホンの音漏れに注意するようにアナウンスしてくれたことがうれしかった。

どうやら日本人には、適度な音量があるようだ。殊に満員電車やエレベーターの中などの人と人との距離の近い場所で大声で話されると気に障る。距離とトーンの関係は文化によっても異なるようだ。海外へ行くホテルやレストランで大声で会話する場面に出くわすこともあれば、やたらと静かに時の流れる場面に身を置くこともある。

エレベーターを待っている人と人が、扉の前では大きな声で話しているても、エレベーター内に入ると急に静かになるのは、他者への気遣いというよりは、文化の表れと考えていいだろう。

日本人同士が話すときにも距離がある。自分のテリトリーが30cm、相手のテリトリーも30cm、つまり60cmの距離を取るのが最も話しやすいと言われるが、これも文化によって距離が異なる。

電車やエレベーターの中では、相手との距離が近すぎるため、話しづらくなる。

この話す距離の問題は、どのくらいの間を置いて学生に質問を発すれば学生が返答しやすいか、という教育上重要な問題を含んでいて、先のごとく60cmの距離から学生に接すると、コミュニケーションがうまくいくという教師の裏技がある。

歩きながら携帯電話で話している人も気に障るが、あれは、近くで話している人の声だけが聞こえて、通話相手の声が聞こえないために、コミュニケーションが体をなさないことからくる苛立ちだそう。ヘッドホンの音漏れも、音楽が完全体で聞こえてこないために神経を擦り減らされるのだろう。

電車やエレベーターという閉じ込められた空間では、耳に心地よい静かな音楽でも聞きたいものだ。



オリーブ先生たちによるルーエッセイ⑬

「オリオチャ!!!」 —中川 正幸—



オリオチャはウガンダのあいさつで「こんにちは」という意味です。自分は青年海外協力隊として2007年～2009年の間アフリカのウガンダに赴任しました。現地では職業訓練校で生徒にパソコンを教えていました。ウガンダの言葉はルガンダといいます。とはいっても、ウガンダには50以上といわれる部族がそれぞれ異なる言語を使っています。よって、部族間のコミュニケーションをとるために公用語の英語か、一番勢力が大きいルガンダを使っている人が多いということです。

グローバル化の波によって？、政府も公用語の英語の教育に力を入れており、若い人たちは英語が話せる人が多いですが、地方に行くとそうでもなかったりします。また、ウガンダならではの独自の英語が発展していたりします。

ある日、近所の子供たちと水汲みに行く途中ヤギがいました。子供たちは「beat it! beat it!」と言います。



「いやいや、おっちゃんは心優しい人だから、そんなひどいことはしないよ。」と言うと、今度は「beat me! beat me!」と言います。「どんなけMやねん!」とつっこみましたが、よくよく聞くと「(デジカメで)写真を撮れ」という意味みたいでした。後日、他の人にこの話をすると、ルガンダは語彙が少なく“叩く”、“押す”、“押さえる”などの意味の言葉が一つしかないらしく、その言葉を英語にすると“beat”になり、この場合(シャッターを)“押す”ということで、現地の言葉を直訳して「beat」を使っているのではないかとのことでした。

また、ウガンダの村を歩いていてよく耳にする英語は「You first come」です。文法的には命令文なので、慣れないうちは少しムッとしますが、彼ら的には単に外国の人と話がしたいから「とりあえず、ちょっとこっちに来んさい。」という意味です。全然知らないおっちゃん、おばちゃんが「You first come」と声をかけ、庭先でお茶したりします。少し外を歩くだけでちびっこ達がむらがってきたりして、とにかく英語やルガンダを話す機会は多かったです。

それに比べると日本に来て日本語を勉強している人たちは話す機会が少なく大変だろうと思います。なのでオリーブではできるだけたくさん会話を楽しんでもらえたらと思います。



オリーブ先生たちによるルーエッセイ⑭

昔はあんなに大きかったのに… —内田 幸夫—

少し前になるが、小学校の同窓会が行われた。何十年ぶりかで会う懐かしい友達を思い浮かべながら会場に到着したが早すぎた。同窓会が始まるまでに時間をつぶすため、以前住んでいた家の近くから学校までを歩いてみた。昔は学校までが遠く感じられたのにあっという間に着いてしまった。それから、いつもソフトボールなどをして遊んでいた公園にも足を運んでみた。公園に入ってみると、広いと思っていた公園は思ったほど広くなかった。また大きいと記憶していた噴水も小さなものだった。学校までの距離や公園などの大きさへの思いは昔のままだが、自分が大きくなったことが意識から抜けてしまっていたから、本当は学校までの距離が短く公園や噴水も小さいことが分からなかったのだろう。

これと同じようなことが、日本語が難しいと思いながら勉強している外国の人にもこれから先に起こることを祈りたいものである。後になって今の日本語の教科書を開いたとき、こんなに易しい日本語に悩んでいたのかと感ぜられることが…

3年間の実習生活お疲れ様でした!!!

ベトナムからの実習生3人が3年間の実習期間を終えて帰国することになりました。彼等は時間の許す限りオリープに来て熱心に勉強していました。帰国しても日本語を活かした仕事についてくれることを期待します。



(写真左から：ギヤさん、トアンさん、ズンさん)

私はベトナムから来ましたズンと申します。私は日本に来て、もう3年になりましたが、オリープ日本語教室に通ってるのは1年前からです。今はもっと早くここに来てればよかったのに。。。と思っています。ここで先生たちに熱心に日本語を教えていただいて、私は日本語が上手になったし、自信を持つようになりました。それに、いろんな国の友達が出来て、皆さんと話して、すごく面白かったです。毎週、土曜日の夜を楽しみにしていました。後は、たくさんイベントも参加させていただいて、日本語だけではなく、日本の文化も勉強になりました。

4月25日に帰国することになりますが、ベトナムに帰っても、ここで学んだことを忘れずに、ベトナムで生かしていきたいと思います。

いろいろお世話になりました。ありがとうございました。

皆さんこんにちは。

私はトアンといいます。実習生として日本に来ました。三年間もうすぐ終わります。今月25日に帰国することになって寂しいです。三年間早かった。実習期間はもうちょっと長くできればいいのに。友達に紹介してもらってオリープに来て良かったです。今までちょうど二年間オリープに参加していました。オリープのクラスで先生たちに日本語を熱心に教えてもらったり、手伝ってもらったりしていただき、その上、いろいろな国の友達に知り合って、皆さんと一緒にイベントもよく参加できました。だから二年間オリープに参加して、いろんな事が勉強できました。特に日本語能力は早く上達しました。日本語で皆さんと話せるようになって、とても嬉しいです。皆さんと交流して日本の文化と皆さんの国の文化もちょっと分かって楽しかったです。それは私の役に立ちます。皆さんからもっと勉強したいんだけど、もうすぐ帰国しないと...皆さんと離れて寂しいです。日本で勉強できた事をベトナムに持って帰って良い国を作ろうと思っています。帰って日本語の勉強をまた続けます。もし質問があったら皆さん手伝ってね。帰った後も皆さんの事を絶対忘れないです。皆さんもね、私の事忘れないでください。将来のために皆さんも頑張ってください。ここまで書いて涙が出てしまった。オリープでの事は良い思い出になりました。皆さんに感謝しております。皆さんと皆さんのご家族はいつまでもお元気で。本当にありがとうございました。皆さん時間あればベトナムに来てね。



(学習者と先生たち)

ーオリープ班紹介その6ー



初級クラスです。現在ネパールから来たバハドゥルさん、ジャムさん（生憎この日は欠席）、そしてフィリピンから来たアダンさんの3人の学習者さんに教えています。皆さん仕事や育児で多忙なため急遽欠席することがあり、又各々のレベルにもばらつきがあります。それらを考慮し、授業ではあまり教科書に頼らず、会話中心、かつ1回解決型になるよう心掛けています。ただ教えるこちら側も日々の生活に追われ、なかなか教案を考え準備する時間が充分に取れないのが目下の悩み...でも！こんな私の拙い授業を聴きに来てくれる学習者さんがいること、そんな学習者さんとの会話にとっても元気をもらえることが私の原動力になっています。（担当：鈴木）

(写真左から：アダンさん、私、バハドゥルさん)



先月の活動 (3月)

日本語教室 3/4(M), 11,25(3回)
 まちセン周年イベント準備 3/3(金)(田中一)
 まちセン周年イベント参加 3/4(土)
 恩地・後藤・田中(三)・田中(一)
 学習者多数

●日本語教室の(M)は定例ミーティング



参加人数(3月)

	3/4	3/11	3/25
先生	28人	23人	30人
生徒	27人	19人	19人



今月の活動予定 (4月)

日本語教室 4/1(M), 8,15,22 (4回)
 KIFA と文化庁事業打合せ 4/10(月)(恩地)
 まちセン運営委員会全体会議 4/21(金)(前田)

●()内は参加者、または参加予定者。敬称略



会員の動き(3月)

(入会) なし
 (休会)(退会) なし
 (賛助会員) なし



お知らせ 1



多文化子ども食堂

一日たぶんがバーベキュー
 いろいろな国の人たちといっしょに
 バーベキューを楽しもう

日時: 2017年5月14日(日)

場所: ロクハ公園キャンプ広場(草津市追分町7-11-2)

料金: 0才~5才 お金はいりません
 6才~15才 200円
 16才~ 500円
 人数: 200人

牛バーベキュー 2本
 フランクフルト 1本
 おにぎり 1個
 パン 1個
 のみもの 1本

(家族や友達といっしょに来てもいいよ!)

申込締切: 5月8日(月) 雨がふったらバーベキューはありません。

主催: SHIPS 多文化共生支援センター・オリーブ

プログラム
 10:30~11:00 受付
 11:00~11:30 そうじ
 12:00~ バーベキュー
 13:00~ ゲーム
 14:00~ おそうじ
 14:30~ 終わり



SHIPS 多文化共生支援センター
 TEL: 077-561-5110
 FAX: 077-565-6311
 喜久川: 090-5096-0244

お知らせ 3

平成29年度
 オリーブ総会および懇親会
 総会

日時: 5月28日(日) 10:00~12:00
 場所: 草津まちづくりセンター2F

懇親会

日時: 同日 12:30~
 場所: あたか飯店 草津店



お知らせ 2

平成29年度滋賀県外国人介護職員養成事業 (日本語版)

「外国人介護職員養成研修」を実施します

介護の日本語や技術を勉強し、介護の職場で働こう!

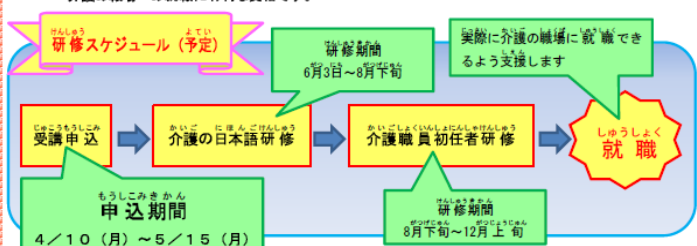
研修期間: 平成29年6月3日(土)~平成29年12月上旬(予定)
 時間: 土曜日および日曜日の9:30~16:30 ※日曜日は2週間に1回
 場所: SHIPS 多文化共生支援センター(草津市草津1丁目13-12)
 対象者: 滋賀県内在住の定住外国人で、介護の職場で働くことを希望する人

※申込者には、面接や簡単な日本語能力の確認を行います。(面接日: 5月20日・21日)

募集人数: 19名 受講料: 無料 ※テキスト代は自己負担(約1万円、分納可)

内容: 介護の職場で働くための日本語研修、介護職員初任者研修など

※「介護職員初任者研修」は、介護の仕事をするための基本的な知識や技術を習得するための研修で、介護の職場への就職に有利な資格です。



お申し込み・お問い合わせは、「SHIPS 多文化共生支援センター」まで!

〒525-0034 滋賀県草津市草津1丁目13-12 (JR草津駅から徒歩15分)

Tel: 077-561-5110
 または090-5096-0244
 (担当者: 喜久川)
 Fax: 077-565-6311

※研修のお申し込みは、裏面の申込用紙を使用してください。



編集後記

春になり暖かい日が増えてくると今まで顔を見せなかったメダカが顔を見せてくれる。しかも赤ちゃんメダカまで。土の中からはちっちゃな花の芽が。“こんにちは!!!” 私にとって春は「生きている」ことの素晴らしさを実感させてくれる季節でもある。(E.S)